

# 京都大学瀬戸臨海実験所振興會

## 水族館月報

No. 88 謹賀新年 1959.12月(1960.1月10日)

### 録 事

去る11月3日の文化の日には、3972名の入場者があった。このうち、毎年の恒例により、窓口売上金25,185円(1422名分)の使途として、今回は西牟婁郡教育委員会指導室の推挙による郡内の最も僻地の小学校2校を送び、5・6年生重全部を白浜に招待することにした。12月4・5両日大塔村豊原小学校本守分校の児童10名(三橋校長他2教員引卒)及び下川小学校和田分校の児童14名(塩谷分校主任他1教員引卒)計29名が来泊。両日にわたり、所費の案内で水族館・動植物園を見学し、又海底観光ボート・ローアウェイにも乗り、温泉にも浴する等、楽しい2日間を満喫した上、6日午前で記念撮影をして帰途についた。総経費25,026円(内交通費10,440円、食費12,936円、その他1,650円)を要した。

この行幸に対しては西牟婁郡教育委員会・白浜町当局・釜折山動植物園・遊覧船組合より多大の協賛を仰いだ。記して厚く御礼申上げる。帰校后参加児童一同より感激さめやらの感想文を多数寄せられ、又大塔村教育委員会、PTAよりも謝意を表せられ、携会あらば来年も……との希望があちこちより寄せられた。

12月9日午後大蔵省管財局国有財産第課の松田勝美・加藤仁・秋庭康男の3事務官が水族館の現地視察のため来所された。京都大学より石本管財部長・生物理学部事務長も同席、振興会及び水族館の実情を説明に及んだ。

同日午前、白浜町議会観光委員会より岩城助役、雑賀観光課長、山口交通対策委員長が交通緩和の一対策として実験所用地の一部提供の陳情に見えたが、現在の段階では無条件割譲は不可能なる旨、非公式ながら答えるより他に手はなく、再検討を要望した。

年末近くになって、名古屋大学（22日～23日ー15名）、東京大学（24日ー13名）地質実習学生団が相次いで来所した。

かねてより実験所で希望していたF70.5型魚群探知機（音響測深機）がその製作会社古野電機より納入されたので、目下テスト中である。

12月7日水族館高松研究員はめでたく荻野和子嬢と結婚の式を挙げ、湯崎に新居をもうけた。心よりお喜び申し上げる。

12月5～13日布施委員は中海干拓計画に基づく魚類調査のため松江市に出張した。

12月21日白浜館にて恒例の忘年会を催す。

## 業 務 概 況

◎ 12月の入場者数

区 分	大 人		小 人		合 計		
	本月分計	累 計	本月分計	累 計	本月分計	累 計	
水族館発売	大人	3783	66233	112	5894	3895	72127
	団体	8589	118079	—	—	8589	118079
交通公社発売	4151	47793	—	—	4151	47793	
明光バス発売	11237	157974	146	5869	11383	163843	
合 計	27760	390079	258	11763	28018	401842	
無 料	養護施設児童他				383	955	

団 体 : 一般 86組, 学生 4組 合計 100組

◎ 12月の事業収入

(今年度累計)

観光券売上金

窓 口 発 売	215,200	3,193,355
交通公社クーポン	57,795	727,798
明光バス観光券	411,832	2,990,189※
子金・積立金利息	—	437,386
雑 収 入	34,181	206,879
魚 菜 拂 下	—	1,080
紙はがき拂 下	13,750	229,340
計	732,758	7,786,027

※ 明光バス観光券未収分 動橋水共通大人券 1378枚  
全 上 小人券 177枚

◎ 12月の支出

水族館経費

要 因	金 額	累 計	備 考
人件費	220,098	1,014,204	期末手当他
会 費	602	90,754	
備 品 費	11,790	72,240	センターオーバルストーヴ
消 耗 費	38,024	180,683	
穿 服 費	47,430	423,953	
維持費	2,600	117,485	
築地産産物	93,650	528,210	築地小学校児童観招待, 忘年会費他
積 立 金	103,547	1,459,339	
合 計	517,751	3,886,868	

実験所経費

費 目	金 額	累 計	備 考
研究費	15,000	127,463	宮地会長
奨学金	—	12,000	
備品費	—	278,917	
消耗費	—	—	
刊行費	—	162,951	
役員費	—	22,550	
合 計	15,000	603,881	

博物館経費

費 目	金 額	累 計	備 考
人件費	81,467	366,238	期末手当他
備品費	—	15,000	
消耗費	—	—	
役員費	—	1,860	
合 計	81,467	383,098	

雇 賃 費

支出なし

支出合計

(今年度累計)

水産館経費	517,751	3,886,868
実験所経費	15,000	603,881
博物館経費	81,467	383,098
雇 賃 費	—	50,000
計	614,218	4,923,847

◎ 12月末現在高

前月よりの繰越	2,743,640
今月の収入合計	732,758
今月の支出合計	614,218
現 在 高	2,862,180

◎ 前年度との比較

	1958	1959	増 減
入 場 者 数	17,040	28,018	+ 10,978

## 水族館記事

- ◎ 正月を前にして、水槽内の大掃除を下旬に行い、あわせて飼育動物の配置を多少変えた。とくに、N0.31水槽のアカウミかメは、N0.28水槽に移し、その水槽を板で仕切って、一方には、アカウミかメの子供を入れ、N0.27水槽のタイマイと共に暖房をとるようにした。また、N0.24ゆふかん水槽には大型の魚菜のかを入れるようにした。
- ◎ 例年の通り、正月のために大型魚菜を多数購入した。その主なものは次の通りである。

1. <u>シロサメ</u>	27日	21尾
2. <u>ホシサメ</u>	〃	10尾
3. <u>アカエイ</u>	〃	2尾
4. <u>カンギエイ</u>	〃	2尾
5. <u>コショウタイ</u>	9日	1尾、22日 3尾、27日 2尾
6. <u>イヌカサゴ</u>	27日	1尾

- ◎ 無脊椎動物で最近入槽していないもので採集・購入したうちの主なものは次の通りである。

1. <u>オニヒトデ</u>	11日	1個体、13日 2個体、28日 2個体
2. <u>オオカイカムリ</u>	?日	1個体、23日 2個体
3. <u>モンタゴ</u>	22日	1個体
4. <u>ヒトエカイ</u>	?日	1個体
5. <u>ケヤリムシ</u>	29日	2個体
6. <u>シヤノメアメフラシ</u>	〃	2個体
7. <u>ベニウミトサカ</u>	〃	約10個体
8. <u>タワシウニ</u>	〃	約20個体
9. その他ウニ類 ( <u>クロウニ</u> , <u>ガンかた</u> , <u>ムラサキウニ</u> , <u>チカウニ</u> )	29日	合計 約20個体

- ◎ 11月18日を最後に入槽したイザリウオは8日に遂に死亡した。

- ◎ 各水槽にかかげてある小型の説明板は、寺名のみが記されてあるため、石種とその動物とを照合するのに不十分であると思われるので、図を入れてわかりやすいようにした。

◎ 12月30日現在、観覧水槽に収容飼育中の動物は総計153種、1490個体以上で、その内訳は次の通り。

カイメン類	3種,	カブトガニ類	1種,	ウミシタ類	1種,
ヒドロ虫類	2種,	エビ類	8種,	ヒトデ類	7種,
ウミトサカ類	3種,	ヤドカリ類	3種,	ウニ類	8種,
ヤギ類	5種,	カニ類	12種,	ナマコ類	5種,
イソギンチャク類	7種,	シヤコ類	1種,	ホヤ類	1種,
サンゴ類	11種,	二枚貝類	7種,	軟骨魚類	5種,
スナギンチャク類	1種,	巻貝類	10種,	硬骨魚類	41種,
ハナギンチャク類	1種,	アメフラシ類	2種,	カメ類	3種,
ホウキムシ類	1種,	イカ類	2種,		
多毛類	2種,	タコ類	1種,		

### 資 料

◎ 12月の気象 (9時観測)  
 観水温室 (水温比室はN0.25水槽)

	上 旬	中 旬	下 旬
晴天日数(22)	8	5	9
空 温(°C)	10.7 ~ 18.9 13.8	9.2 ~ 16.6 13.2	9.0 ~ 12.5 10.7
水 温(°C)	16.26 ~ 18.88 17.85	16.23 ~ 19.60 17.87	14.90 ~ 16.63 15.96
比 重(0.0)	25.11 ~ 25.81 25.32	25.35 ~ 25.69 25.61	25.42 ~ 25.70 25.59

取入口

水 温(°C)	15.93 ~ 20.31 18.67	17.46 ~ 19.89 18.61	16.09 ~ 18.06 16.99
比 重(0.0)	25.07 ~ 25.61 25.38	25.35 ~ 25.74 25.58	25.50 ~ 25.78 25.66

昭和35年1月10日 (NO. 88)

編集兼  
発行着

内海富士夫

発行所

瀬戸内海温泉  
知可山温泉  
瀬戸内海温泉  
(Tel. 白浜温泉 515)